

ERA ENDOMETRIAL RECEPTIVITY ANALYSIS

子宮内膜受容能検査

2017年7月

1. ERA 検査の目的

原因不明の反復性着床障害（良質な受精卵を複数回移植しても妊娠に至らない場合）の原因として子宮内膜の【着床ウィンドウ】が一致していないという報告が2014年にスペインの *IVI Valencia* という施設から発信されました。【着床ウィンドウ】つまり子宮内膜に受精卵をが着床できる時間や時期は個人差があり、適切な時期に移植することにより妊娠が可能になるのではないかと思います。当院では ERA 検査をすることにより患者様個人【着床ウィンドウ】の結果から移植の時期を判断し、妊娠・出産をしていただくため実施しております。

2. ERA 検査の背景

これまでは【着床ウィンドウ】を知る手段として子宮内膜日付診（組織学的基準に基づく方法）というものが一般的でした。しかしこの検査では正確に判断し移植時期を決定できるものではありませんでした。ERA 検査は患者様の子宮内膜組織より抽出した RNA 産物を NGS(次世代シーケンサー)を用い、236個の発現遺伝子を解析することにより【着床ウィンドウ】を明らかにすることが可能になりました。ERA 検査を受けられた方の30%近くは【着床ウィンドウ】の時期がずれていたという結果が出ております。

3. ERA 検査の方法

例といたしまして ホルモン補充周期の場合、黄体ホルモン（P）投与開始日を0日とします。5日目（P+5）に子宮内膜を採取します。自然周期の場合は排卵日から5日目（LHsyrgge, hCG投与から7日目-LH+7、hCG+7）に子宮内膜を採取します。この検査周期では移植は行いません。なお、こちらはあくまでも推奨例であり、患者様と当院医師による最適な周期において子宮内膜採取を行っております。また子宮内膜を採取するため出血、痛み等を伴う場合もございます。事前に医師、看護師より十分な説明を受けてからの検査をお勧めいたします。

4. ERA 検査の結果

子宮内膜を採取した時期の結果が *Receptive* の場合、【着床ウィンドウ】には問題がなく良質な受精卵をこの時期に同じ条件で移植していくことにより妊娠を期待できます。*Non Receptive* と出た場合は再度、2 回目の検査が必要となります。この場合検査結果には次回検査のタイミングの指示が記載されています。再検査の結果を確認することで患者様個人の最適な移植時期を特定できますので、次回以降の同条件の周期に良質な受精卵を移植します。

5. ERA 検査注意

ERA 検査の結果が出るには 2～3 週間ほどを要します。検査結果によっては再検査、再々検査の場合もございます。

6. ERA 検査実施に伴う副作用及び不利益に関しまして（免責事項）

頻度は稀ですが ERA 検査を実施されるにあたり、考えられる副作用として術後出血、子宮内感染症、子宮穿孔等がございます。またこの検査は現在スペインに検体を国際輸送し検査・解析しております。輸送中の検体の事故等による破損・もしくは逸失につきましては、その理由を問わず当院では一切の責任を負えないことをご了承ください。

7. ERA 検査の同意の取り消し

患者様は ERA 検査の実施前であれば、本治療の同意を取り消すことが可能でございます。しかし一度同意があった医療行為に関しましては、あとからお取消しのお申し出があった場合は、すでに行われた医療行為（具体的にはホルモン調整等）につきましては同意があったうえで行ったものとしません。

8. 個人情報のお取り扱いに関しまして

個人情報に関しましては当院で厳重に管理し、個人情報保護法及び緩関連するガイドラインに従っております。但し守秘義務誓約書を交わした審査機関による審査のみには提供する場合があります。また患者様の身元が確認できる情報及び個人情報は法律に基づいて要求される場合を除き、保護されます。なお学会報告、論文掲載に使用する場合は個人情報はすべて匿名化し患者様個人を特定できないよう十分な配慮を怠りません。

9. ERA 検査の参考文献

What a difference two days make: “personalized” embryo transfer (pET) paradigm: a case report and pilot study. Hum Reprod. 2014 Jun;29(6):1244-7. doi: 10.1093/humrep/deu070. Epub 2014 Apr 15. PubMed PMID: 24737781 Ruiz-Alonso M, Galindo N, Pellicer A, Simón C.

The endometrial receptivity array for diagnosis and personalized embryo transfer as a treatment for patients with repeated implantation failure. Fertil Steril. 2013 Sep;100(3):818-24. doi: 10.1016/j.fertnstert.2013.05.004. Epub 2013 Jun 4. PubMed [journal] PMID: 23756099 Ruiz-Alonso M, Blesa D, Díaz-Gimeno P, Gómez E, Fernández-Sánchez M, Carranza F, Carrera J, Vilella F, Pellicer A, Simón C.

A Genomic Diagnostic Tool for Human Endometrial Receptivity based on the Transcriptomic Signature Fertil Steril. 2011. 95(1)pp: 50-60, 60.e1-15 Díaz-Gimeno P, Horcajadas JA, Martínez-Conejero JA, Esteban FJ, Alamá P, Pellicer A, Simón C

ERA 検査詳細に関しましては当院までお問い合わせください

岩 端 医 院

院長 岩端 秀久

静岡県沼津市大手町 3 - 2 - 19

TEL 055 - 962 - 1368

<http://www.iwahata.jp/>

不妊原因を分子生物学的に解明し、不妊治療を効率的に。